

# 第 23 回東京都障害者スポーツ大会オープン競技 フットサル（精神部門） 競技規則

## 1. 競技全般

今大会の競技規則は、日本フットサル連盟競技規則に準拠する。  
しかし、以下の点については、今大会特別競技規則とする。

## 2. チーム編成（※特別競技規則）

- ① チームは、選手は 12 名、役員（監督・コーチなどのこと）3 名以内で編成すること。それ以外はコートへの立ち入りはできない。
- ② 監督、コーチなどの役員が選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ出場できない。選手の数は選手を兼ねる役員を含めて 12 名以内にする。
- ③ 試合は 5 人制で行い、うち一人はゴールキーパーとする。
- ④ 女性が出場する際（時間）は、最大 6 人までフィールドでプレーすることができる。

## 3. 試合形式（※特別競技規則）

- ① 試合時間は予選リーグ 8 分 1 本、順位トーナメントは 10 分 1 本とする。
- ② 予選はリーグ戦とし、順位トーナメント戦は上位決勝トーナメントと下位トーナメントで行う。（※ 試合時間、試合形式についてはチーム数により変更する場合があります）
- ③ 予選については同点の場合、引き分けとする。
- ④ 予選リーグは、1) 勝ち点・2) 得失点・3) 総得点・4) 直接対決・5) 勝ち数・6) 抽選の結果で順位を決定する。なお、勝ち点は勝ち 3 点、同点 1 点、負け 0 点となります。
- ⑤ 順位トーナメントについては、同点の場合、サドンデスにて PK 戦にて勝敗を決定します。
- ⑥ 試合開始時に試合成立人数が揃わない場合や競技規則に違反するなど、試合が成立しない場合は、その試合を没収試合とし「0-5」で負けとする。

## 4. 反則について（※特別競技規則）

- ① 安全性を考慮し接触プレーの禁止。  
全ての接触プレーではなく、過剰な力によるショルダーチャージを禁止します。
- ② スライディングタックルの禁止。（全てのスライディングがファールではありません。）  
[ファールとなる例]
  - ・ボール保持者のボールへのスライディングタックル
  - ・シュートする際のボールディスタンス範囲内のボールへのスライディング[ノーファールの例]
  - ・シュートされたボールのコースへのスライディング（シュートブロック）
  - ・パスカットによるスライディング。
  - ・ゴールキーパーによるゴールクリアランス内での正当なスライディング。
- ③ ゴールキーパーへのバックパスは OK とする。

特に①②は微妙なプレーも多々ありますのでレフリーの判断を最優先とします。

（裏面へ続く）

5. 注意事項 ※以下のことを守れない場合、チームとして処罰することがあります。

- ① 選手は、「すねあて（レガース）」を必ず着用してください。レガースの着用がない場合は試合に出場できません。
- ② メガネを着用しての出場はご考慮ください、コンタクトレンズ、スポーツゴーグルの着用をお奨めします。
- ③ 大会は屋外の人工芝のコートで行います。
- ④ すべての装身具（ネックレス、指輪、ブレスレット、イヤリング、皮革でできたバンド、ゴムでできたバンドなど）は禁止されており、装身具をテープで覆うことは、認められません。「時計」「アクセサリ」等の貴金属の着用をしてのプレーは禁止します。
- ⑤ 膝や腕のプロテクターなど危険でない保護用具で、柔らかく、軽いパッドが入った材質でできているものは、ゴールキーパーの帽子やスポーツメガネと同様に認めますが、表面から突き出ている部分（突起物）があるものは禁止します。（ただし黒または、シャツの主たる色と同色であること）
- ⑥ その他、疾患や障害等の保護のための上記にあたらぬ装身具（補聴器など）を必要とする場合は、エントリーシートの「その他特記事項」に必ず記載してください。
- ⑦ 金銭などの紛失等一切の責任は負いかねますので、貴重品の管理は、各自が責任を持って行ってください。
- ⑧ 危険防止のため、試合中コート内での撮影は禁止します。
- ⑨ コート内へ入れるのは選手・コーチ・監督のみとなります。給水については、ペットボトル、水筒などのフタのある飲み物以外はコート内へは持ち込めません。
- ⑩ その他の飲食は、コート内では一切禁止します。観覧席など決められた場所で行ってください。
- ⑪ ゴミはすべて各自が責任をもって持ち帰ってください。
- ⑫ 喫煙は、喫煙コーナーで行ってください。
- ⑬ 参加資格や登録選手、競技規則等に反した場合は、当会にて裁定をする。
- ⑭ その他、ルールについては審判に従うこと。また大会においては、主催者の指示に従って行動してください。